

一丸となつて住みよい町に

暴力追放・不良化防止市民総ぐるみ運動展開

推進へ協力員の委嘱も

さいきんわたしたちの富士市は「暴力の町」というありがたくない名で新聞紙上をにぎわしました。こうした悪名を追放し、明るい町づくりを行なうため、暴力追放・不良化防止市民総ぐるみ運動が10月1日からはじまりました。

この運動は、あらゆる暴力の追放と青少年の不良化を防止し、犯罪のない明るい住みよい町づくりを市民総ぐるみで実施していくもので、2年間を1期として行なわれます。

運動の目標は……。

- ・暴力追放・不良化防止運動の趣旨を広め、市民の自覚を呼びかける。
- ・警察および事務局に対し積極的な情報の提供と警察の処置の適切化をはかる
- ・青少年補導センターの活動と地区社会教育推進会の事業を積極的にはかる。
- ・環境の浄化と育成、整備をすすめる。

具体的には①ポスターやチラシを事業所や各家庭へ配布して自主的な協力を求める。②社会教育推進会はじめ各団体や事業所に協力員（モニター）を委嘱する

③あらゆる会合で運動の趣旨を説明していく。④俗悪ポスターを追放する。⑤補導センターは警察、社会教育推進会、市民と連絡を密接にして補導活動を強化する。⑥親と子で築く明るい家庭運動、茶の間読書運動をより積極的にすすめる。などを行なつていきます。

このうち協力員は、補導委員、社会教育委員、企業関係、PTA関係、保護司など1,447人を委嘱し、運動の普及につとめるとともに、情報の収集をはかり警

察、補導センターと連絡をとり、暴力追放、不良化防止をはかつていきます。委嘱は10月下旬ころ行ないます。

なお、協力員は各町内に4人ないし5人委嘱します。みなさんも暴力行為をみたとき、不良化グループなどを見たときは協力員に通報するなど、明るい町づくりにご協力ください。

社会教育推進大会開く

第2回社会教育推進大会が11月7日午後6時30分から吉原市民会館で開かれます。この大会では青少年の健全育成と明るい家庭づくり運動をすすめるとともにパネル討議が行なわれます。パネル討議は、青年、婦人、成人、学校、職域、行政の代表がでて討議を行ないますので、みなさん多数おでかけください。

清掃業務体制を強化

執務場所が第1清掃作業所に

清掃課の執務場所が10月1日から変わりました。いままで、清掃課は鷹岡事務所で執務を行なつていましたが、命令系統を確立し、機動性を発揮するため第1清掃作業所（久保町・電35-0081）に変えたものです。

また、監督を強化するためいままで清

掃課長が兼務していた第1、第2清掃作業所長を新しく配置しました。これにともない、人事異動も行なわれました。

・清掃課長＝小野田清一　・第1清掃作業所長＝加藤邦利　・第2清掃作業所長＝高橋博

なお、清掃課では年ごとに多くなるゴミを能率的に収集するため、整備計画をたてています。市民みなさんも清掃業務がスムーズにできるようご協力をお願いします。

今と昔

今と昔

左富士 ⑦

依田橋地先に「左富士」という名勝があります。今では昔の面影はなく、松の木が1本あるだけです。

東海道を東から西へ行くとき、富士山はいつも右側に美しい姿をみせています、ところが、依田橋地先では松並木の間から左側に見えたので、ここを「左富士」といって東海道の名勝になつていました。

「左富士」の名のおこりは、西行法師（鎌倉時代の歌

人）が京都へ上る途中、依田橋までくると急に富士山が左側に見え、その美しさが格別だつたので「左富士」と名づけたのがはじまりといわれています。

江戸時代の画家安藤広重が、天保4年（1833）に将軍が朝廷に馬を献上する行列にくわり、東海道を上るとき「東海道五十三次」の風景を絵にしました。そのうちでも「左富士」の絵は特にすぐれている名画だと、広く海外にも有名です。（鈴木富男稿）

